

事業所名

放課後等デイサービスゆにこ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

11月

6日

法人（事業所）理念		活動を通じて、伝えること(Communication)を学んだり、仲間(Company)を大切にしたり、集団だからこそ得られる経験をしてもらいたいと考えています。また、課外活動を通じて、地域(Community)とつながり、子どもと事業所が、地域と共に成長していきたいと願っています。障害のある人もない人も、共に生きる(Universal)社会を目指しています。											
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 楽しく、そして安心して過ごせる居場所作りが出来るよう、個々の思いに寄り添いながら支援を行います。 ご家庭、学校、その他関係機関と連携し、個々の持っている力を伸ばせるよう、方向性を共有しながら支援を行います。 											
営業時間		平日	12	時	00	分から	17	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
土曜・長期休暇		9	時	30		15		30					
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 利用者個々の健康確認を行うと共に、体調不良の意思表示が難しい方もおられるため、積極的に表情や普段と違う様子を確認しながら健康管理を行います。 自身の持っている力を奪わないよう留意しながら見極めを行い、個々に合わせたペースで卒後までに付けて欲しい生活力の向上を目指します。 											
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 手先を使ったあそびや、戸外での大きな動きのあるあそびなどを通し、楽しみながら基本的技能の向上をはかれるようサポートします。 あそびや活動の中で、視覚・聴覚・触覚などの感覚を活用出来るよう意識して支援を行います。 											
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 見通しの持ちやすい言葉掛けを意識し、必要に応じて視覚的な要素も用いながら支援します。 個々の持っている感覚や認知の特性を踏まえた言葉掛けや環境設定を行い、安心して過ごせるよう援助します。 											
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 分かりやすく簡潔に伝える事を意識し、必要に応じて写真カードなどの視覚的要素やジェスチャーなどの非言語コミュニケーションも用いながら相互理解を図ります。 上手く伝えられない様子が見られた際は、支援者が言語化したり代弁することで、伝えようという気持ちが膨らむよう援助します。 											
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 個々の思いを尊重しながらも、他児や集団への興味が見られた際は見逃すことなく寄り添い、意欲に繋がられるよう支援します。 他児や支援者との関わりの中で、相手の気持ちに気付いたり、自身の気持ちの調整が出来るよう援助します。 											
家族支援		連絡帳や送迎時の会話などで随時情報共有するとともに、必要に応じて面談や参観の場を設けて、不安や困りごとへの相談援助を行います。					移行支援			学校や関連の福祉施設とケース会議を行い、スムーズな地域への移行をします。			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 近隣の地域イベントへの参加を通して交流をはかります。 保育所等訪問支援事業を併設し、学校との連携を行います。 					職員の質の向上			<ul style="list-style-type: none"> 毎月全事業所合同、外部開催の研修への参加 大津市障害者自立支援協議会への参加 法人内事業所間研修への参加 			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 節分、ひな祭り、縁日、クリスマス会といった季節感を味わう行事にちなんだ活動 買い物学習やお出かけ等、土曜日・長期休暇の事業所外活動 											